

令和元年度 事業計画

I 基本方針

当協会では、県や市町村・民間団体等と一体となって、効果的な広報や、旅行会社等に対する積極的なセールス活動、国際観光やスポーツツーリズムの推進、県内観光の総合案内所「こうち旅広場」の受入態勢の機能の充実、おもてなしの向上などの事業に積極的に取り組んできた。

この結果、平成 30 年の県外観光客入込数は、豪雨や台風の影響があったものの、幕末維新博の開催や国の観光復興に向けた取り組み等の効果もあり、第 3 期高知県産業振興計画で定める 435 万人を上回る 441 万人と、過去最高を記録した平成 29 年とほぼ同水準となった。

令和元年度は、県外観光客入込数 435 万人以上の定常化を目標に置き、これを実現するため、これまでのキャンペーンや博覧会を通じて磨き上げてきた「食」と「歴史・文化」の観光資源を活用しつつ、2月1日からスタートした「リョーマの休日～自然&体験キャンペーン～」では本県のもう一つの強みである「自然」や「体験」を前面に出した効果的なプロモーションやセールス活動を県内外に向けて行っていく。

また、「自然」や「体験」を活用した着地型旅行商品の造成・販売や二次交通対策などにより観光客の地域周遊の促進と満足度の向上に向けて、引き続き県や市町村、民間団体等とともに積極的に取り組む。

<重点取組>

(1) 効果的な広報の展開

「自然」や「体験」を前面に出した高知県観光キャンペーン、「リョーマの休日～自然&体験キャンペーン～」を中心とした誘客を基本としながら、本県の強みである「食」や「歴史・文化」を絡めたプロモーションを展開する。

中でも、テレビや旅行誌等メディアを積極的に活用し、「自然&体験キャンペーン」のイベント等や、7月7日から12月25日までの間に嶺北地域4町村で開催される「土佐れいほく博」での「アウトドアレジャー」や「生活文化」のほか、「土佐あかうし」などの魅力ある「食」等の露出を強化していく。

また、高知家プロモーションとの連携のもと、高知県の観光情報発信における最大のツールである“よさこいネット”や「自然&体験キャンペーン」特設サイトを活用した PR を展開する。加えて、「龍馬パスポートⅢ」や「公式!こうち旅アプリ」のユーザー拡大を図ることでリピーターの確保を図る。

(2) 旅行会社等に対する積極的なセールス活動

《国内誘致》

これまで磨き上げてきた歴史と食に加えて、本県の強みである自然、体験を打ち出した「リョーマの休日～自然&体験キャンペーン～」を旅行会社に対して PR することで、県外観光客入込数の拡大を図る。また、旅行会社の造成部門に働きかけ、本県向けのツアー数の拡大につなげるとともに、全国6都市で開催する観光説明会などにてタイムリーな観光情報を発信する。

MICE 誘致推進事業では、本県の適正規模に応じた各種 MICE の誘致に取り組むこととし、本県への経済波及効果およびリピーター層の拡大へとつなげる。

《国際誘致》

令和元年度は、引き続き重点8市場（台湾・香港・タイ・シンガポール、中国、韓国、米、豪）への積極的な個別セールスを行うとともに、高知龍馬空港への国際定期便の就航を念頭に、チャーター便の誘致や国際定期便が就航する近隣県と連携したプロモーションを展開する。

また、多言語情報発信サイト「VISIT KOCHI JAPAN」や SNS（フェイスブック、インスタグラム）の他、口コミサイト（トリップアドバイザー）等を活用した情報発信や多言語（5言語）対応の本県観光パンフレットを作成・配布し、積極的な情報発信とプロモーションを展開することにより、インバウンドの拡大に取り組む。

(3) スポーツツーリズムの推進

国内外のプロ・アマスポーツの合宿、プロ野球のプレシーズンマッチ、ゴルフトーナメントの開催などに対する各種の助成や支援、大都市圏の球場やスタジアムでの「高知県フェア」の開催などを通じて、本県の観光情報を発信するとともに、サイクリングをはじめとする自然を活かしたスポーツツーリズムを積極的に推進して、国内外からの誘客に取り組んでいく。

(4) 高知県観光の総合案内所としての「こうち旅広場」の機能強化

JR 高知駅前の「こうち旅広場」の観光イベント館（「龍馬伝」幕末志士社中）と高知観光情報発信館「とさてらす」において、「リョーマの休日～自然&体験キャンペーン～」の実施にあたり、これまで展開してきた本県の強みである歴史や食の案内に加えて、地域にある観光案内所等と連携しながら、各地が有する自然景観や体験型観光プログラムなどを紹介することで、県内各地への周遊を促す総合的な観光案内を両館で一体的に展開する。

Ⅱ 公益目的事業

1 観光客受入事業

(1) “おもてなしの心” 接客推進事業

①おもてなしタクシー事業

優れた接客マナーと観光ガイドの知識を備えたドライバーを養成するために、高知県内のタクシードライバーを対象とした「高知県観光ガイドタクシー」（通称、おもてなしタクシー）の認定制度を関係団体と連携して実施し、認定者数増を図る。

②臨時観光案内所設置事業

令和元年に10連休となるゴールデンウィーク、よさこい祭りの期間中に、土佐観光ガイドボランティア協会や高知SGG善意通訳クラブ等と連携し、高知城やサービスエリアに臨時の観光案内所を開設し、受入態勢の充実と観光客の満足度の向上を図る。

③「i」案内所運営委託事業

高知観光情報発信館「とさてらす」内に外国人観光客向けの「i」案内所を設置し、外国人観光客へのサービス向上や利用者増を図る。

④大型外国客船対策事業

近年増加する大型外国客船のオプションツアーの催行に向けて、県内での商談会や個別のセールス活動を通じて、ツアーの受け入れを望む地域の団体と旅行会社等とのマッチングの支援を行い、地域へのオプションツアーの波及率を上げるとともに県内各地域への周遊を促す。

(2) 旅行業務推進事業

「リョーマの休日～自然&体験キャンペーン～」と連動し、県内各地域の独自の観光資源を活かした新たな着地型旅行商品の造成・販売を行う。また、「とさてらす営業所」において、県や市町村、県内広域観光組織、市町村観光協会などと連携した商品造成による地域ビジネスの醸成を図るとともに、旅行会社等へのセールス活動を展開し、催行数増に向け取り組むことで、地域への周遊を促す。

(3) 二次交通整備事業

高知県を訪れる観光客の二次交通対策として、JR高知駅～はりまや橋～五台山～桂浜を結ぶ周遊観光バス「MY遊バス」を運行し、観光客の利便性の確保・満足度の向上を図るとともに利用者増を目指す。また、タクシーで観光地を巡る周遊観光タクシープランの利用を促進することにより、本県を訪れる観光客の満足度と利便性の向上を図る。

(4) イベント開催・支援事業

高知城を舞台にした「夜のお城まつり」や秋の食のイベント「土佐の豊穰祭」を実施するとともに、「高知城花回廊」や「土佐のおきやく」をはじめ、県内で開催される各種イベントへの支援を行うことで、本県での滞在時間の延長と消費の拡大を図る。

(5) 「こうち旅広場」管理運営事業

「こうち旅広場」の観光イベント館（「龍馬伝」幕末志士社中）と、高知観光情報発信館「とさてらす」を一体的に機能させ、きめ細やかな観光情報の発信・提供を行うとともに、広場を活用した各種イベントを実施し観光客の集客や利用者の満足度の向上を図る。

さらに、これまで展開してきた本県の強みである歴史、食の案内に加えて、「リョーマの休日～自然&体験キャンペーン～」と連動するとともに地域の観光案内所等と連携しながら、各地が有する自然景観や体験型観光プログラムなどを紹介することで、より一層地域への周遊を促す。

(6) 龍馬パスポート事業

平成30年にユーザー数が20万人を超えた龍馬パスポートを令和元年度においても運用を継続するとともに、「自然&体験キャンペーン」と連動した取組を実施することで観光客の県内各地への周遊促進やリピーターの増加を図る。

(7) SNSによる情報発信事業

「リョーマの休日～自然&体験キャンペーン～」の情報発信において、SNSを活用し、国内外へ情報発信を行っていくことで、本県への誘客を図る。

(8) 四県観光協会連携事業

四国4県の観光団体が情報交換や「四国おもてなし感激大賞」など4県が連携した取り組みを実施し、観光における四国内の交流人口拡大等を図る。

2 国内誘致事業

(1) 旅行会社等対策事業

①国内旅行商品造成事業

これまで磨き上げてきた「食」と「歴史」を活かしつつ、本県のもうひとつの強みである自然・体験を前面に出した「リョーマの休日～自然&体験キャンペーン～」を中心に、「募集型」や「受注型」の旅行商品造成に向けて、旅行会社への助成制度によりセールス活動を展開することで、本県への誘客拡大を図る。

②旅行会社等とタイアップしたプロモーションと誘客促進

各種旅行会社等とのタイアップにより、パーソナル系旅行会社へは高知単県パンフレット制作の助成を通じた旅行会社店頭での潜在需要を掘り起こし、WEB系旅行会へは「リョーマの休日～自然&体験キャンペーン～」のプロモーションおよび専用プランの造成・販売などを実施することで、本県への旅行動機を高め誘客を図る。

③旅行会社対象モニターツアーの実施

重要マーケットである関西エリアからの誘客を目的に、OATA（大阪府旅行業協会）の会員を中心に「リョーマの休日～自然&体験キャンペーン～」の素材や歴史、食を体感してもらい、旅行商品の造成および県内周遊コースのエリア拡大を図る。

④商談会出展事業

四国ツーリズム創造機構と連携し日本最大の国内外向け旅行博覧会ツーリズムEXPOジャパン（大阪・10月予定）への出展、および全国の観光協会等が参加して開催される旅ミルン（岡山・7月予定）への出展により、本県の歴史、食の魅力に加えて「リョーマの休日～自然&体験キャンペーン～」のPRを行うことで、本県観光の周知を広く図る。

(2) セールス・情報収集・発信事業

県内各地域の広域組織等との密接な連携のもと、全国6都市での観光説明会の開催や観光商品素材集の制作及び提供により、パーソナルやメディア系等のそれぞれの旅行会社に対して「リョーマの休日～自然&体験キャンペーン～」のタイムリーな観光情報を発信していくことで、旅行商品の造成と誘客の拡大を図る。

(3) 教育旅行誘致事業

首都圏と関西を中心に、本県の強みである歴史・食・自然等の体験型観光素材を県や各広域組織と連携しながら、旅行会社や教育団体等に対して営業活動を行うとともに、学校関係者向けの教育旅行説明会を開催するなど、幅広い誘致活動の展開により、本県への教育旅行の拡大を図る。

あわせて、旅行会社や学校関係者の下見旅行への助成と、教育旅行担当者等を対象にしたモニターツアーを実施し、本県の魅力を知ってもらうことで、来

訪校数の拡大を図る。

(4) MICE誘致推進事業

本県でのMICE開催に向けて、主催団体への助成制度や魅力的なユニークベニューやアフターMICE等を示した誘致企画書等によりセールス活動を展開することで、MICE開催を検討する主催団体等の獲得を図る。

また、本県ゆかりの企業や誘致活動を通じて築いたネットワークを活用した情報収集と並行した営業活動の展開により、本県でのMICE拡大と開催に伴う経済波及効果を高める。

①MICE主催団体に対する開催支援

主催者への助成金の交付や郷土芸能等の提供事業のほか、開催準備や運営アドバイスを行う。また、開催後にアフターフォロー等を行うことでリピーター層の獲得を図る。

②各種 MICE ツールの制作

主催者への誘致企画書やコンベンションガイド、参加者への飲食店ガイド等を作成・配布し、本県での開催需要を高めるとともに、JCCB（日本コングレスコンベンションビューロー）等の関係者や県内事業者等との連携を強化し、ユニークベニューやアフターMICE 素材の開発を進める。

③MICE 誘致セールス活動の推進

県外事務所と連携した本県ゆかりの企業へのセールス活動のほか、IME 国際ミーティングエキスポ等の商談会への出展、福利厚生代行業者と連携した企業研修等の誘致活動の展開、県内大学関係者との人脈構築等や MICE 担当窓口等への情報発信を行うことで、MICE 開催件数の拡大を図る。

3 国際誘致事業

(1) 国際観光振興誘致事業

①国際旅行商品造成事業

海外からのツアー商品を造成する旅行会社や国際チャーター便を運航する航空会社に助成を行い、本県向け旅行商品造成と訪日外国人の誘客拡大を図る。

また、県内の観光関連事業者が、海外商談会等に参加する際の経費助成を行うことで、インバウンドに取り組む県内事業者の増加と体制強化を促し、誘客の拡大につなげる。

②海外セールス活動の推進

台湾、香港、タイ、シンガポール、中国、韓国、米、豪の8市場を重点地域として、訪日商品を取り扱う旅行会社へのセールス活動や国内外で開催される商談会などでの誘致活動を官民連携して展開する。

また、海外旅行社や現地メディア、および個人手配旅行者（FIT）向けに影響力のある方（インフルエンサー）を招聘するファミツアーなどを実施することにより、増加傾向にあるFITの誘致を図る。

加えて、四国ツーリズム創造機構および日本観光振興協会四国支部が実施する広域連携での営業活動に積極的に参加するとともに、海外事務所等（シンガポール高知県事務所、丸虎国際顧問有限公司(台湾)・JNTO香港事務所）と連携したセールス活動により、誘客を図る。

さらに、受入体制の強化に向けて、県内観光関連事業者に対して、実践的なインバウンドビジネスセミナー等を開催するなど、県内での受入事業所等の拡大を図る。

③国際観光プロモーション活動の強化

外国人向け観光情報サイト「VISIT KOCHI JAPAN」のリニューアルを行うとともに、SNS（Facebook、インスタグラム）等を活用しながら、本県の観光情報を様々な手段により効果的に発信することで、海外における本県の認知度を向上させ、外国人旅行者の来高意欲の向上を図る。

また、多言語（英語、繁体字、簡体字、韓国語、タイ語）対応の観光パンフレットを製作・配布し、本県の認知度向上と誘客拡大を図る。

④ビジットジャパン地域連携事業

主に中国や韓国、台湾、香港等において、四国3県と観光庁（JNTO）等と広域連携し、本県を含む四国の認知度を向上させるためのPR活動などを展開する。

⑤東京都中国四国連携事業

2020東京オリパラを見据え、東京都等と連携し、地方の魅力をPRする広報展開やドライブマップを作成するなどして、東京やゴールデンルートに集中している外国人観光客を地方に分散させる誘客活動を実施する。

⑥国際定期便のある近隣県（香川県）との連携事業

国際定期便のある香川県と連携し、海外でのプロモーションやセールスを合同で実施することで、路線就航地域からの誘客を拡大させる。

⑦多言語メニュー作成支援事業

県内の飲食店に対して、多言語メニュー「DINING KOCHI JAPAN」の作成や登録に関する手続き等を支援することにより、受入れ体制の整った県内事業者の拡大を図るとともに、ウェブサイトの管理運営を行う。

⑧FIT向け商品販売事業

FIT（個人手配旅行者）向けに「自然・アクティビティ」を活かした、サイクリングコースやレンタカーコースなどを組んだ旅行商品の造成及び販促に向けたファムツアーを実施し、FITの入込拡大を図る。

4 スポーツ推進事業

(1) プロ野球キャンプ対策事業

① キャンプ誘致及びプレシーズンマッチの開催支援

阪神タイガース及びオリックス・バファローズ、埼玉西武ライオンズ、その他韓国プロ野球チームのキャンプ継続に向けて、地元市、関係団体等と連携した誘致活動や受け入れを行うとともに、キャンプ実施につながるプレシーズンマッチ開催の定着化を図るため、NPB各球団に対する積極的な誘致活動を展開する。

また、高知市東部球場「しらさぎドーム」を積極的にPRし、新たなプロ野球球団の春季キャンプ誘致に取り組む。

【キャンプ誘致球団】

チーム名	時期	チーム編成	場所
阪神タイガース	秋季	1軍	安芸市営球場
	春季	2軍	安芸市営球場
オリックス・バファローズ	秋季	1軍	高知市東部球場
埼玉西武ライオンズ	春季	A班2次、B班	県営春野球場
L G ツインズ	秋季	1軍	高知市営球場
ハンファ・イーグルス	秋季	2軍	高知市営球場
新規チーム	春季	1軍・2軍	高知市東部球場

② プロ野球ファーム公式戦の開催

キャンプ開催球団との関係を強化し、キャンプ開催を継続的なものとするため、キャンプ開催地の自治体が主催する公式戦に対して、助成金交付及び運営支援をおこなう。(安芸市)

③ プロ野球独立リーグ「四国アイランドリーplus」の開催支援

高知ファイティングドッグスの入場者増加を図るため、球団の広報活動に対する助成をおこなうとともに、関係団体・機関と協力した誘客活動を行う。

(2) プロサッカーキャンプ対策事業

近年、本県キャンプを開催したJリーグ所属のプロサッカーチームのキャンプ継続に取り組むとともに、今夏完成する県立青少年センター陸上競技場をPRし、新たな球団のキャンプ誘致に取り組む。

【キャンプ誘致チーム】

チーム名	クラス	場所
横浜F・マリノス	J1	春野総合運動公園
アルビレックス新潟	J2	
徳島ヴォルティス	J2	
カマタマーレ讃岐	J3	

ブラウブリッツ秋田	J 3	
カタレ富山	J 3	
セレッソ大阪U-23	J 3	
新規チーム	—	県立青少年センター 西南大規模公園など

(3) プロゴルフ対策事業

①カシオワールドオープン開催支援

本年度で39回目（本県開催15回目）となる「2020カシオワールドオープンゴルフトーナメント」の開催と成功に向け、大会実行委員会と連携した各種施策を展開するとともに、大会運営面での支援を行う。

場所：Kochi黒潮カントリークラブ

②ヨコハマタイヤゴルフトーナメントPRGRレディスカップ開催支援

本年度で13回目を迎えるヨコハマゴムゴルフトーナメントPRGRレディスカップの継続開催と成功に向け、現地推進委員会の中心的メンバーとして、地元行政機関、関係団体等と連携しながら、トーナメントの円滑な開催や入場者増加に向けた支援を行う。

場所：土佐カントリークラブ

(4) 大都市圏高知県フェア開催事業

プロ野球及びプロサッカーチームのホームゲームで「高知県フェア」を開催し、「リョーマの休日～自然&体験キャンペーン～」を中心とした高知の「自然」「食」「歴史」などの観光情報を発信し、本県観光のイメージアップとキャンプ地「高知」のPR、さらには、キャンプ継続に向けたチームとの関係強化を図る。

チーム名	名称	場所
阪神タイガース	高知・安芸あったかフェア	阪神甲子園球場等
埼玉西武ライオンズ	高知県フェア	メットライフドーム
オリックス・バファローズ	高知よさこいシリーズ	京セラドーム
徳島ヴォルティス	高知県フェア	鳴門ポカリスエットスタジアム
横浜F・マリノス	高知県サンクスデー	日産スタジアム等

(5) アマスポーツ推進事業

地域の活性化とスポーツ施設の有効利用を図るため、「スポーツ合宿助成事業」や「自然を活かしたスポーツ大会支援事業」等を活用し、アマチュアスポーツ団体の合宿、スポーツ大会等の誘致を推進するとともに、高知ファイティングドッグスと連携して、国外スポーツ団体の合宿誘致に取り組む。

また、「ぐるっと高知サイクリングロード」の効果的な活用を図るため、県外で開催される見本市への出展やサイクリング関係メディアの招聘を通じた情報発信を行う。

5 プロモーション事業

(1) 観光情報収集発信事業

令和元年2月1日からスタートした、高知県観光キャンペーン「リョーマの休日～自然&体験キャンペーン～」にこれまで磨き上げてきた「食」や「歴史・文化」を含めて、インターネットをはじめ、テレビ、ラジオ、新聞、雑誌等のメディア媒体をフル活用するとともに、包括協定及び協賛で関係のある企業や団体とも連携して、タイムリーな本県観光の情報発信を行い、国内外からの誘客を拡大させる。

加えて、本県の観光情報発信が集約された「よさこいネット」や「自然&体験キャンペーン」特設サイト、観光サポートアプリケーション「公式！こうち旅アプリ」を広く周知する取組みを展開する。

(2) フィルムコミッション事業

近年の撮影等の支援実績や県外のフィルムコミッション等とのネットワークを活用しながら、首都圏・関西圏の映像制作者への情報提供等を継続実施し、映画やテレビの撮影の誘致を図る。

また、効果的な誘致活動やロケ支援等の向上を図るため、県内のロケーション資源の情報収集と更新を強めるとともに、撮影をスムーズに進めるためのワンストップサービスに努めるほか、市町村と観光協会等の地域団体と連携した県内の受入体制の充実を図る。

(3) 観光物産展事業

全国各地の百貨店で本県の物産品の販売を県内事業者等との連携のもと行うとともに、販売先の地域の方々並びに来場者に対して本県の観光PRを行い、広く本県観光の周知に取り組む。

また、「リョーマの休日～自然&体験キャンペーン～」や「高知家」プロモーションと連携した観光等のPRに努め、本県のイメージアップと観光客の誘致拡大を図る。

【主な催事予定箇所】

No.	都道府県	会場	開催日	規模等
1	熊本県・熊本市	鶴屋百貨店	4月	四国・瀬戸内
2	大分県・大分市	トキハ本店	5月	四国・瀬戸内
3	山口県・下関市	下関大丸	5月	薩長土肥
4	大阪府・大阪市	阪神百貨店梅田本店	6月	四国四県
5	愛知県・常滑市	中部国際空港	7月	四国四県
6	大阪府・大阪市	あべのハルカス近鉄本店	8月	四国四県
7	広島県・広島市	福屋広島駅前店	9月	四国四県
8	兵庫県・神戸市	そごう神戸店	9月	四国四県

9	広島県・広島市	そごう広島店	11月	四国・瀬戸内
10	北海道・北見市	コミュニティプラザ・パラポ	1月	高知県単県
11	福島県・福島市	中合福島店	2月	四国四県
12	東京都・町田市	小田急百貨店町田店	2月	四国・山陽
13	愛知県・豊田市	トヨタ生協メグリア本店	3月	四国四県